



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場会社名 アトムクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4625 URL <https://www.atomix.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 神保 敏和  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 富士田 学 (TEL) 03 (3969) 0471  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,863	3.7	157	134.4	172	123.3	103	173.7
2019年3月期第2四半期	4,692	△7.0	67	△66.5	77	△63.7	37	△84.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 94百万円(186.7%) 2019年3月期第2四半期 33百万円(△85.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	16.49	—
2019年3月期第2四半期	6.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,498	9,728	72.1
2019年3月期	14,211	9,728	68.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 9,728百万円 2019年3月期 9,728百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	4.6	390	39.2	410	36.1	270	46.5	43.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	7,242,000株	2019年3月期	7,242,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	984,417株	2019年3月期	986,017株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,256,783株	2019年3月期2Q	6,252,360株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復基調で推移しました。一方、個人消費の低迷、物流コストの上昇、海外においては米中間の貿易摩擦の激化、中東における地政学的リスクの高まりなど依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは第12次3ヶ年計画の最終年度である当期において、その目標を達成するべく、環境対応製品の拡販、顧客視点に立った製品開発、原材料をはじめとする生産コストの削減、新たなマーケティング活動を行うとともに、個々の業務の棚卸を行い効率化や生産性の向上に努めています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高48億63百万円(前年同期46億92百万円)、営業利益1億57百万円(同 67百万円)、経常利益1億72百万円(同 77百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億3百万円(同 37百万円)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

#### <塗料販売事業>

道路用塗料は、第1四半期から引き続き路面標示材と視覚障がい者誘導用シート及び路面標示の工事で使用する施工機械の販売が好調に推移し前年を上回りました。一方、建築用・床用塗料は、消費税増税前の需要が伸びなかったこと、海外情勢の影響により顧客である製造業等での設備投資が控えられたため、前年を下回りました。家庭用塗料は、ホームセンター分野での売上が改善できず前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて2億15百万円増加し、45億78百万円(前年同期比 4.9%増)となりました。

#### <施工事業>

顧客となる企業の設備投資が引き続き控えられ、床材工事の受注が低迷したため前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて43百万円減少し、2億84百万円(前年同期比 13.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億13百万円減少し、134億98百万円となりました。これは主に、仕掛品で94百万円増加したものの、受取手形及び売掛金で6億60百万円、電子記録債権で45百万円、商品及び製品で58百万円、原材料及び貯蔵品で19百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて7億12百万円減少し、37億70百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金で3億34百万円、電子記録債務で1億82百万円、長期借入金で72百万円、流動負債のその他で63百万円減少したためです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べてほぼ変動なく、97億28百万円となりました。これは主に配当金で96百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益で1億3百万円増加したためです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想については、2019年11月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,726,252	2,758,009
受取手形及び売掛金	3,476,378	2,815,831
電子記録債権	557,908	512,848
商品及び製品	1,032,110	973,429
仕掛品	193,146	287,779
原材料及び貯蔵品	499,726	480,632
その他	53,822	34,966
貸倒引当金	△31,176	△27,179
流動資産合計	8,508,169	7,836,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,110,072	1,143,434
土地	2,930,024	2,930,024
その他(純額)	440,503	416,157
有形固定資産合計	4,480,600	4,489,616
無形固定資産	204,614	195,272
投資その他の資産	1,018,196	977,289
固定資産合計	5,703,410	5,662,177
資産合計	14,211,580	13,498,494
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,692,232	1,357,593
電子記録債務	936,588	753,695
短期借入金	245,820	245,840
未払法人税等	79,092	54,529
賞与引当金	108,344	70,829
その他	578,939	515,620
流動負債合計	3,641,017	2,998,107
固定負債		
長期借入金	310,280	237,350
役員退職慰労引当金	83,010	69,045
株式給付引当金	54,121	60,796
退職給付に係る負債	280,157	286,893
資産除去債務	42,198	42,427
その他	71,799	75,838
固定負債合計	841,565	772,351
負債合計	4,482,583	3,770,459

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	8,165,814	8,172,574
自己株式	△399,816	△399,081
株主資本合計	9,498,567	9,506,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	233,970	224,573
退職給付に係る調整累計額	△3,541	△2,600
その他の包括利益累計額合計	230,428	221,973
純資産合計	9,728,996	9,728,035
負債純資産合計	14,211,580	13,498,494

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>売上高</b>		
商品及び製品売上高	4,363,671	4,578,895
工事売上高	328,787	284,972
売上高合計	4,692,458	4,863,868
<b>売上原価</b>		
商品及び製品売上原価	3,021,682	3,165,592
工事売上原価	277,570	192,160
売上原価合計	3,299,252	3,357,753
<b>売上総利益</b>	<b>1,393,206</b>	<b>1,506,114</b>
販売費及び一般管理費	1,326,068	1,348,770
<b>営業利益</b>	<b>67,138</b>	<b>157,344</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	52	20
受取配当金	5,999	6,399
為替差益	1,334	331
受取保険金	646	6,070
その他	5,478	4,558
営業外収益合計	13,511	17,380
<b>営業外費用</b>		
支払利息	3,612	2,674
営業外費用合計	3,612	2,674
<b>経常利益</b>	<b>77,038</b>	<b>172,050</b>
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	249	49
特別利益合計	249	49
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	427	730
リース解約損	—	827
特別損失合計	427	1,558
税金等調整前四半期純利益	76,860	170,542
法人税、住民税及び事業税	17,990	42,204
法人税等調整額	21,159	25,136
法人税等合計	39,150	67,341
四半期純利益	37,710	103,201
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	37,710	103,201
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,411	△9,397
退職給付に係る調整額	751	941
その他の包括利益合計	△4,659	△8,455
四半期包括利益	33,050	94,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,050	94,745
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	76,860	170,542
減価償却費	157,090	161,372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,349	△3,996
賞与引当金の増減額(△は減少)	△150,558	△37,514
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,880	△13,964
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,388	6,736
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	1,088	1,363
株式給付引当金の増減額(△は減少)	7,609	7,409
受取利息及び受取配当金	△6,052	△6,420
受取保険金	△646	△6,070
支払利息	3,612	2,674
為替差損益(△は益)	△1,934	7
固定資産売却損益(△は益)	△249	△49
固定資産除却損	427	730
売上債権の増減額(△は増加)	909,863	705,607
たな卸資産の増減額(△は増加)	△213,817	△16,857
仕入債務の増減額(△は減少)	△501,178	△517,532
リース解約損	—	827
その他	△88,925	27,567
小計	200,108	482,434
利息及び配当金の受取額	6,054	6,420
利息の支払額	△3,524	△2,678
法人税等の支払額	△38,139	△60,407
保険金の受取額	646	6,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,144	431,839
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△80,208	△181,934
有形固定資産の売却による収入	270	50
無形固定資産の取得による支出	△21,930	△29,034
貸付金の回収による収入	389	389
その他	△183	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,662	△210,529
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	100,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△72,910	△72,910
自己株式の取得による支出	△2	—
配当金の支払額	△96,339	△95,849
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△17,923	△20,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287,175	△189,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,934	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△221,759	31,757
現金及び現金同等物の期首残高	2,877,766	2,726,252
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,656,007	2,758,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(会計方針の変更)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(有価証券の評価基準及び評価方法)

その他有価証券の評価方法については、従来、総平均法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より移動平均法に変更しています。この変更は、有価証券売却による売却損益の把握をより迅速かつ適切に行うことを目的としたものです。

なお、当該会計方針の変更に伴い遡及適用した場合に過年度の連結財務諸表に与える影響はありません。